



MAEDAKOSEN

MK

MK 受圧板

独立受圧板

地山補強土工

NETIS:KT-200029-A



前田工織

MK受圧板

—鉄筋挿入工に用いる独立受圧板—



開口率が高い

のり面全体の緑化、木本類の保存と育成可能

フレーム形状

大きな枠組み、軽量、施工の省力化

プラスチック、アルミ製の二種類

リサイクルプラスチックを利用し、資源を有効利用 (SQ60kN)

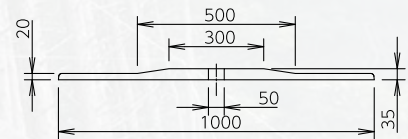
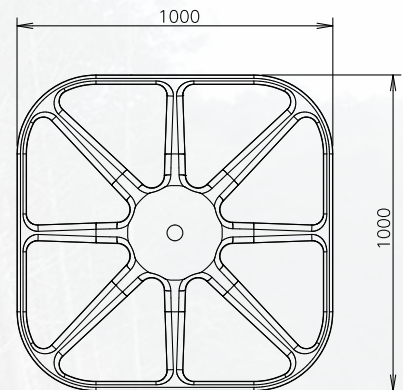
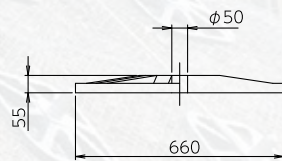
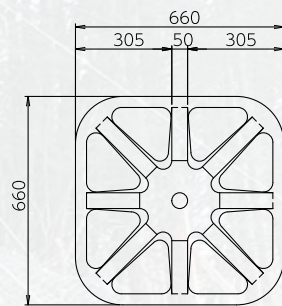
アルミニウム合金は高い強度と靱性を有する (SQ130kN)



リサイクルプラスチック製とアルミ合金製の2種類を必要強度および斜面状況により使い分け、適したタイプを使用することができます。

SQ60kN

SQ130kN



項目	SQ60kN	SQ130kN
設計アンカー力	60kN	133kN
厚さ	中央部55mm(公称厚さ) 端部30mm	中央部35mm(公称厚さ) 端部20mm
質量	8.5kg	21.0kg
受圧面積	0.44m ²	1.0m ²
原材料	リサイクルプラスチック	アルミ合金

施工手順



削孔



補強材(鉄筋など)挿入、セメントミルク注入



MK受圧板設置



頭部処理工

MK受圧板併用事例

緑化資材 との併用

〈ストローシート・ポリマット〉

※他の緑化資材も現地条件に合わせて、使用可能です。

受圧板間の保護と緑化を兼ねた侵食防止機能に優れた緑化資材

地山状況によって専用植生基材で対応



ストローシート
SS-50
砂質系地山



ポリマット
PM-180
岩質系地山

表層崩壊の 防止

〈GMネット〉

軽量・高強度の繊維シートおよびネットを併用して設置

表層の剥落防止および一体性の向上



GMネット

不陸調整

〈コアマット〉

地表面の不陸を解消し、受圧板に局所的な圧力が発生しない
へちま構造のため、面内緑化を可能とする



不陸調整

〈ジオワッシャー〉

岩盤部の不陸調整
グラウト材を充填することで、不陸部を埋めることができる



ジオワッシャー
GEW-700-700

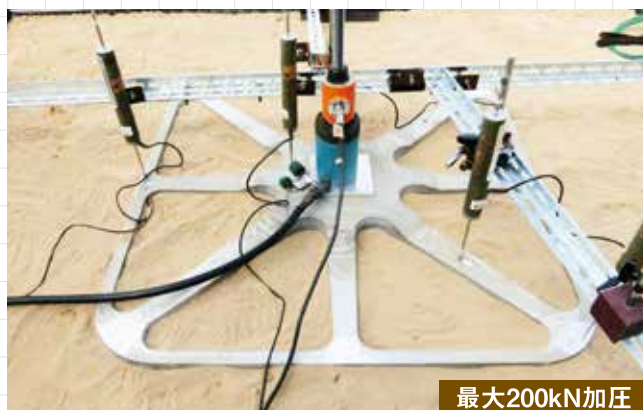


確認試験

許容荷重内での除荷後形状が復元されることを確認
不陸などでの偏荷重に対して、破壊が起こりにくい



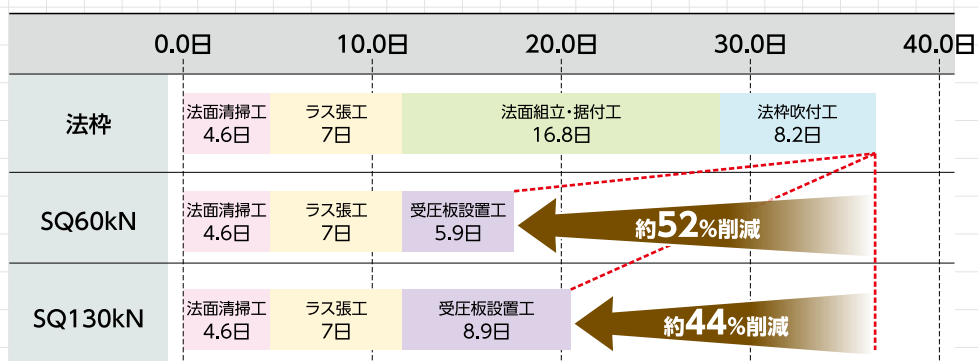
最大90kN加圧



最大200kN加圧

従来の工法との優位性

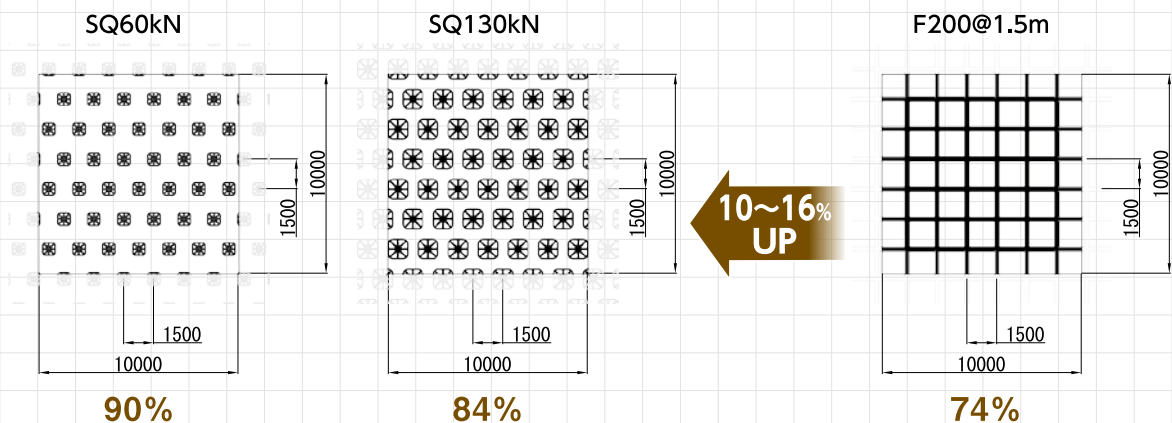
施工日数



従来工法に比べ約50%程度施工日数を低減できます。

※両方基材吹付は除く。

緑化面積



※幅200mmの法枠。アンカーピッチ1.5mでの比較。

のり面工タイプと低減係数 μ の目安

MK受圧板は法枠同等～それ以上の性能です

のり面工タイプ	植生のり面工	コンクリート吹付工	法枠工	擁壁工
μ	0	0.2~0.6	0.7~1.0	1

SQ60kN	補強材長さL					
	1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m
のり面工係数 $fa=L^2/BS$	1.01	4.02	9.05	16.08	25.13	36.18
のり面工低減係数 μ	1.00	1.00	0.97	0.85	0.76	0.69

SQ130kN	補強材長さL					
	1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m
のり面工係数 $fa=L^2/BS$	0.67	2.67	6.00	10.67	16.67	24.00
のり面工低減係数 μ	1.00	1.00	1.00	0.93	0.85	0.77

実績

狹隘地



ブロック積擁壁補強



金網併用



繊維製ネット併用



補強土工法の背面



植生マット併用



枠内補強



岩部補強



盛土背面



MK

MK 受圧板

独立受圧板

地山補強土工
NETIS:KT-200029-A

前田工織株式会社

東京本社／〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1
東京営業部 芝パークビルA館12F
TEL.03-6402-3944 FAX.03-6402-3945
福井本社／〒919-0422 福井県坂井市春江町沖布目38-3
福井営業部 TEL.0776-51-9200 FAX.0776-51-9236
札幌支店／TEL.011-733-3360 FAX.011-733-3365
仙台支店／TEL.022-726-6670 FAX.022-726-6671
新潟支店／TEL.025-250-7803 FAX.025-250-7806
名古屋支店／TEL.052-971-8020 FAX.052-971-8021
大阪支店／TEL.06-6201-0313 FAX.06-6201-0668
広島支店／TEL.082-262-5555 FAX.082-262-5565
四国支店／TEL.089-998-3577 FAX.089-998-3511
福岡支店／TEL.092-282-1033 FAX.092-282-1035
盛岡営業所／TEL.019-606-3386 FAX.019-606-3078
金沢営業所／TEL.076-288-6077 FAX.076-288-6078
岡山事務所／TEL.086-805-0355 FAX.086-805-0357
鹿児島事務所／TEL.099-295-3226 FAX.099-295-3256
<https://www.maedakosen.jp/>

沖縄コーセン株式会社

本社／〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-10-16 沖縄バスビル2F
TEL.098-860-3404 FAX.098-860-3418

※本書に記載されている製品のデザイン、規格やサービスの内容等は、改良のため予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承下さい。

C.2205.10.0301